

2014年8月号
Vol. 22

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<http://www.cbs.or.jp/>

第28回若い芽のαコンサート

「若い芽のαコンサート」では、昭和62年より、千葉県にゆかりのある将来有望な若手演奏家とプロのオーケストラとの共演の場を提供してきました。毎年、定員を上回る応募があり、多くの方々にお楽しみいただいています。

今年は、岡本誠司さん（ヴァイオリン）、石田真奈美さん（箏）、宮西純さん（チューバ）の3名が、6/29千葉県文化会館にて、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉と共演しました。

3名のソリストと、指揮を務めていただきました大井剛史さんより、メッセージが寄せられましたのでご紹介いたします。



生まれも育ちも千葉の私が、満員の千葉の聴衆のみなさまに温かく迎えられ、大井剛史さん指揮のニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のみなさまのすばらしい支えと共に、敬愛してやまないブラームスのヴァイオリン協奏曲を演奏できたことは、とても幸せでした！
是非近いうちにまたどこかで私の演奏を聴いていただけたら、そして同じ空間で音楽を共有できたら幸いです！
岡本誠司



この度は、大変貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。お声を掛けていただいたこと、演奏をご一緒していただいたみなさま、演奏会の運営に携わっていただいたみなさまに心より感謝申し上げます。舞台上でたくさんの音に包まれ、とても幸せな時間でした。
またみなさまにお目にかかれる機会を楽しみにしております。どうも、ありがとうございました。
石田真奈美



今回、出演させていただけたことを心から光栄に感じます。
世界中どこにいても、一番思い入れのある“まち”千葉県。子供の頃からの思い出が詰まった、オーケストラ、ホール。それを分かち合ってくれたお客様。全てが僕にとって掛け替えのない時間でした。
本当にありがとうございました！
宮西純

毎年、若い芽のαコンサートで新しい才能と出会うことを、ニューフィル千葉ともども、大変楽しみにしています。

今年も、未来の日本の音楽界を牽引していくであろう素晴らしい奏者の方々とご一緒させていただき、感動しつつ充実した時を過ごさせていただくことができました。心から感謝いたします。このような貴重なコンサートが、これからも末長く続きますよう願っております。

大井剛史

またロビーや舞台を飾る700鉢を超える花は、この演奏会のために千葉県立農業大学校の学生のみなさんが心を込めて育てた花です。

終演後にはお客さまにプレゼントしました。演奏と共に、この花のプレゼントも毎年、大好評をいただいています。



この演奏会に向けて3月初めに種をまき、先生方の教えのもとで管理してきました。日々管理してきた花が素晴らしい公演の一部となり、その花を渡した時によろこんでもらえてよかったです。この機会を与えてくださった関係者の方々にお礼申し上げたいと思います。
千葉県立農業大学校 花き園芸専攻教室 専攻生

これからも、より良い演奏会になるよう精一杯がんばります！ぜひ、「若い芽のαコンサート」を聴きにきてください。お待ちしております♪

みなさん、千葉県文化会館にさまざまなイベントでご来館されたことがあるかと思いますが、当館周辺に、多くの美術作品や記念碑があることをご存知ですか？

ロビーにあります男性のブロンズ像(「啓天」藤野舜正)は、ご存じだと思いますが、ほかの作品には気づかず、通り過ぎてしまっている方が多いのでは……。

そこで、より多くの方々に作品を知って、触れていただくため、会館内外にある美術作品を紹介する「ちばぶんアートマップ」を作りました。



千葉県立美術館と連携し、作品を紹介する「美術鑑賞教室」も開催しています。多くの作品が、いつでもご自由にご覧いただけますので、ご来館の際や近くにお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。

～五線譜にのせて～

千葉県東総文化会館

吹奏楽の魅力があふれる「TOSO プラスバンドフェスティバル」を、1月18日に開催いたします。今回は、吹奏楽コンクールで度々演奏される「民衆を導く自由の女神」をはじめ、多くの名曲を作り、活躍している作曲家、樽屋雅徳さんにテーマソングを作曲していただき、オリジナリティ溢れる演奏会をお届けします。曲に込められた樽屋さんの想いとメッセージをご紹介します。



TOSO プラスバンドフェスティバルのように、区内各校とゲスト団体のさまざまな演奏や、演出だけでなく、最後には出演者全員が一丸となって演奏し、コンサートを創りあげることが、とても素晴らしいことだと思います。このコンサートのオリジナル曲を、毎年演奏することで、『今年も TOSO プラスバンドフェスティバルがやってきた！』と、この地区の定番として、観客の方々にも、演奏者のみなさんにも、楽しんでいただけたらうれしく思います。

樽屋雅徳

さあ、どんな素敵な曲が生まれるのでしょうか？どうぞ、ご期待ください♪

～指導者の想い～

千葉県少年少女オーケストラ

千葉県少年少女オーケストラでは、プロの世界で活躍し、演奏も指導力も定評のある方々に、団員の指導をお願いしています。どのようなことに気を配っているか、また、どのような想いで指導してくださっているか、今回は2人の先生にお話を伺いました。

【ヴァイオリン指導者の照沼愛子さん】

私の担当しているヴァイオリンは、50名を超える大所帯で、小学生もたくさんいますし、楽器の演奏年数もそれぞれ違います。楽譜を読むことが不得意な子とは、一緒にリズムを手で叩いたり、音名で歌ったり、いろいろな工夫をしています。実際、歌えるようになると楽器でも弾けるようになってしまうのです。

さらに、私が楽器を弾き、その音を聴かせたり、左手・右手の状態を見せたり、当たり前なのですが、耳や目を使い、感覚的に感じ、覚えさせます。

初めから、なんでもできてしまう人はいません。天才は努力することが上手なのです。

小さいことの積み重ねが大切。子どもたちの本番・舞台上での自信にあふれた“あの顔”が見たく、私も常に真剣勝負をしています。



【コントラバス指導者の加藤正幸さん】

オーケストラの楽譜は、残念ながら子ども用という物が存在しなく、私たちプロが演奏する楽譜と全く同じ物を使用しています。

オーケストラは、スポーツでいうと“団体競技”ですから、各々の技術+チームワークが必要なのです。

私たち講師は、技術力はもちろんですが、助け合ってより良い音づくりができるように



指導していますので、卒団し、音楽から離れても、思いやりのある素晴らしい人間になってほしいと願って指導をしています。

編集後記

今年も「若い芽のαコンサート」を盛大に開催することができました。温かいご声援、ありがとうございました。この演奏会をきっかけに、ソリスト3名が活躍してくれることを楽しみにしています！みなさんもぜひ、今後にご期待ください。